

令和8年度 東温市高齢者肺炎球菌感染症予防接種 説明書

この説明書をよくお読みになり、予防接種の必要性や副反応について理解しましょう。気になる点や不明な点があれば医師に質問し、十分に納得した上で接種を受けましょう。

肺炎球菌感染症とは

肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、咳やくしゃみなどを通じて飛沫感染します。日本人の約5～10%の高齢者では鼻や喉の奥に菌が常在しているとされます。これらの菌が増殖し、下気道や血流中へ侵入することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。

対象者

東温市に住所を有する人で、次のいずれかに該当する人

- ① 65歳の方（66歳の誕生日の前日まで接種可能）
- ② 60歳以上65歳未満の者であって、心臓、腎臓、もしくは呼吸器の機能の障害又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方

高齢者肺炎球菌感染症に対する定期接種は、**生涯で1回のみ**接種可能です。

持参物

- ① 予防接種予診票（65歳の誕生月の月末に送付予定）
- ② 接種費用 5,500円 ※
- ③ 身分証明書

※生活保護世帯の方または中国残留邦人等の支援給付を受けている方は、東温市福祉事務所の発行する証明書を医療機関に提出していただくと接種費用が免除になります。

接種場所

愛媛県内の予防接種実施医療機関で接種が可能です。事前に医療機関にお問合せください。

【参考】東温市内実施医療機関

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
池川内科・神経内科	964-7787	辻整形外科クリニック	960-6555
石川小児科	955-0333	中野クリニック	960-5800
いずみ内科循環器クリニック	961-1195	西野内科クリニック	964-2200
愛媛十全医療学院附属病院	966-5011	西本整形外科	964-1611
こばやし内科クリニック	960-5311	春香メンタルクリニック	993-7710
さとう耳鼻咽喉科クリニック	990-1133	藤本内科クリニック	960-5500
たけもと整形外科クリニック	955-5888	八木耳鼻咽喉科・皮膚科医院	964-5400
辻井循環器科内科	964-0013	山本内科胃腸科	966-2066

使用するワクチン

令和8年度より、定期接種で用いるワクチンが23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン（PPSV23）から「沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）」に変更になりました。ワクチン接種後の免疫を得る機序が異なっているため、ワクチンに含まれる血清型において、PCVの方がPPSVよりも高い有効性が期待できます。2024年時点で成人の侵襲性肺炎球菌感染症の原因となる肺炎球菌の血清型のうち、各ワクチンに含まれる血清型の割合も概ね同等程度です。

接種できない方

- ・ジフテリアトキソイドによってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方
- ・明らかな発熱を呈している方
- ・重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ・予防接種を行うことが不適當な状態にある方

接種に注意が必要な方

- ・免疫不全と診断されている方
- ・近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ・心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方
- ・予防接種を受けて2日以内に発熱や全身性発疹などのアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- ・過去に痙攣をおこしたことがある方
- ・沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）の成分や、ジフテリアトキソイドに対してアレルギーを呈するおそれのある方
- ・血小板減少症、凝固障害、抗凝固療法を受けている方

沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）の効果

肺炎球菌には、100 種類以上の血清型があり、定期接種で使用される沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）は、そのうち 20 種類の血清型を対象としたワクチンであり、この 20 種類の血清型は、成人侵襲性肺炎球菌感染症※ の原因の約 5～6 割を占めるとい研究結果があります。

また、沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）は、血清型に依らない侵襲性肺炎球菌感染症全体の 3～4 割程度を予防する効果があるという研究結果があります。

※侵襲性感症とは、本来は菌が存在しない血液、髄液、関節液などから菌が検出される感染症のこと

沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20）の安全性

ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、ショック・アナフィラキシー、痙攣（熱性痙攣含む）、血小板減少性紫斑病がみられることがあります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問合せください。

他のワクチンとの同時接種・接種間隔

医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン、帯状疱疹ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。また、他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

接種を受けた後の注意点

ワクチンの接種後 30 分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。注射した部分は清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。当日の激しい運動は控えるようにしてください。

予防接種健康被害救済制度

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすることはできないことから、救済制度が設けられています。制度の利用を申し込む時は、下記までご連絡ください。

問合せ先 **東温市 健康推進課** TEL 089 - 964 - 4407

